



母子保健係

本年4月から国の行政庁として「こども家庭庁」が設置されます。これに伴い、本町における「こども家庭センター」については、健康福祉課内に新たに「母子保健係」を設置し、国・県からの情報提供の受け皿として業務を行うとともに、課内及び関係課の業務を分担し、住民ニーズに応えられる効率的な運営を図っていきたくと考えています。



給食費補助金

子育て世代の負担軽減策として、町が補助している小中学校の給食費補助金を、現在の児童生徒一人当たり月1000円から5000円に引き上げたいと考えています。

社会教育関係事業

新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされていた社会教育の関係事業については、関係団体と連携・協力しながら開催に向けて努めてまいります。

社会教育の新規事業として、福岡県と桂川町、飯塚市、嘉麻市の3市町が連携し、嘉飯桂の将来のリーダーを養成する人材育成事業に参画したいと考えています。これは中学2年生を対象に、地域に縁のある著名人の講義や体験、グループワーク等の合宿型プログラムを実施するものです。

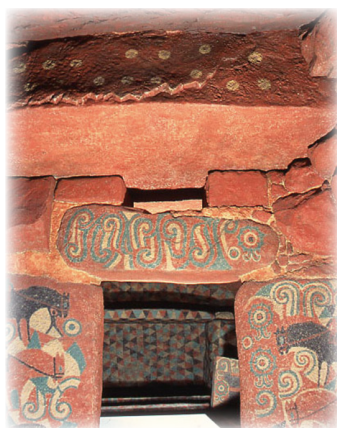
また、コロナ禍で停滞が心配される地域公民館活動は、徐々に活動が再開されており、「地域はつつらつ応援助成金」事業を活用した活性化支援を継続してまいります。



王塚装飾古墳館

令和2年度に策定した保存活用計画に基づき、保存と活用の取組を進めています。令和5年度は、4年度の調査結果をもとに、石室内の鋼管支柱や照明器具の見直し、公開期間の拡大などについて検討を進めます。

また、コロナの影響で見送っていた王塚古墳の特別公開については、事前予約、人数制限などを行い、春の公開に向けて取り組んでまいります。



桂川町立図書館

特色ある図書館活動の充実に努め、読書活動を推進します。ブックスタート事業は、絵本を介して親子の心の「きずな」を育むためにも継続して行い、子ども対象のおはなし会やおりがみ教室、大人を対象とした折り紙教室や朗読会などを開催します。